

【世田谷区社会福祉協議会地域の支えあい活動助成事業】

『人にやさしいまちづくりのためのマスタープラン 奥沢版』

に基づく活動計画のための調査研究・作成

報 告 書

2008年3月



編集 発行

人&まちネット おくさわ

-目 次-

はじめに	1
I：基本方針	1
II：実施のスケジュール	2
III：まとめ	3
IV：各テーマの活動報告	5
◇ 他区施設の利用	6～11
◇ 公園	12～23
◇ 道路	24～27
◇ 地域バス	28～37
(添付)『フォーラム2008』当日資料	

表紙カット

葛岡 信男

奥沢まちづくり出張所内 見所スポット

東玉川第二公園 花壇

(2007年世田谷ガーデニング大賞受賞)

はじめに

私たちは2006年度「世田谷区社会福祉協議会地域の支えあい活動助成事業」から活動資金の助成をうけて、『住民による人にやさしいまちづくりのためのマスタープラン 奥沢版』を作成しました。

マスタープランに掲げた「人と人との繋がり」の場として、2007年4月に立ち上げたいきいきサロン「まちかどサロン」は、この一年順調に推移して「人と人との繋がり」の拠点として機能することが期待できるまでに育ちました。

さて、私たちはマスタープランに沿って二年目の活動を検討した結果、次の四つの課題に取り組むことにしました。また、短期で調査できるもの、より深い調査を必要とするものがあることから、短期、中期、長期に課題を区分けし、息の長い活動とする必要を実感し、今後以下のような展開をしたいと思います。

- 1：短期的課題(～1年)として ①他区施設の利用問題
- 2：中期的課題(～3年)として ②公園 ③地区内道路の問題
- 3：長期的課題(～5年)として ④地域バスの問題

今年度も活動資金は、「世田谷区社会福祉協議会地域の支えあい活動助成事業」から助成を受けるべく申請のうえ承認を得てスタートしたものです。

I：基本方針

選択した四つの課題毎に次のとおり取り組み方針を決め、それぞれに担当者を割り振り進めることにしました。

1：他区施設利用の問題

図書館、区民センター等の施設は既に相互利用されている。今回は、乳幼児検診、成人基本健康診査等について調査をする。

2：公園の問題

①地区内公園の実態を調査する。

②実態調査をもとに、より活用されるためにはどうすべきか、次年度以降の行動計画を作成する。

3：道路の問題

①地区内道路の実状を調査する。

②調査をベースにあるべき姿を模索し、次なる活動計画を作成する。

4：地域バスの問題

①実施地域の事例を実際に体験し、経験者から学ぶ。

②実現にいたるまでの道筋を構想する。

Ⅱ：実施のスケジュール（２００７年～２００８年）

年	月 日	活 動 内 容
2007	4 月 27 日	今年度の活動方針の検討・決定
	5 月 7 日 19 日	
	6 月 4 日	
	6 月 24 日	助成申請認可
	7 月 17 日	世田谷区交通政策課聴き取り調査
	9 月 3 日	横浜市泉区Eバス実地調査
	9 月 5 日	各担当者進捗状況報告 公園・他区施設アンケート作成・配布先検討 公園定点調査担当決め
	9 月 15 日	まちかどウォッチング実施
	10 月 3 日 20 日	アンケート配布 生涯現役受講者見学
	10 月 29 日	せたがやくるりん・サンクスネイチャーバス実地調査
	1 月 17 日	フォーラム日時決定 呼びかけ検討
	12 月 7 日	フォーラム講師、チラシについて検討
	12 月 15 日	フォーラム講師、チラシ配布先決定 フォーラムの進め方、その他必要事項決定
2008	1 月 21 日	チラシ印刷、配布
	1 月 30 日	フォーラム当日資料印刷
	2 月 2 日	フォーラム開催
	2 月 18 日	報告書原案検討
	2 月 10 日 17 日	報告書検討
	3 月 31 日	報告書印刷



注：今年度は担当が４項目に分かれていたため、上記以外に各担当は随時打ち合わせをした。

Ⅲ：まとめ

今年度、私たちは昨年度作成したマスタープランから、優先順位が高いと思われる4つの課題を選択し、テーマ毎に担当を割り振り、作業を進めました。効率よくと考え採った方法でありましたが、メンバーが同一目標に向かって活動している感覚がなかなか実感できませんでした。今後の課題と思われます。

記録的な猛暑の夏には、各作業も遅れ気味で、中間報告は報告の体をなすか心配しました。終わりに近づき、2月のフォーラムはバランスのとれた多彩なパネリストを招くことができ、住民の参加も得て、和やかなフォーラムにすることができました。

4つの課題のまとめ

「他区施設の問題」 現状調査を踏まえ、関係機関に要望及び提案書を3月に提出しました。関係機関の対応を期待して、見守る事としました。

「公園」 今回の調査から、公園ごとの特徴や、いいところ、問題のあるところなどがわかってきました。あんまり知られていない公園、利用されていない公園は、犯罪の発生の原因にもなりかねません。来年度は、住民（特に子どもたち）の協力を得ながら、課題解決のための活動を始めていきたいと考えています。

「道路」 道路は生活になくてはならないものです。住民の高齢化が進む現在、どうしたら道路の安全が確保できるか、その第一段階として地区内の道路、環境の特徴等現状把握に努めました。

「地域バス」 この地域に馴染みのない言葉をいかに浸透させるかという課題から出発しました。フォーラムを開催することにより、住民の一部の人には理解と必要性を実感していただけたと思います。来年度以降は適切なアンケートやヒアリングを行い、地域のニーズを調査できるよう努力したいと考えています。

以上のように今年度の結果報告ができるに至りました。

私たちが昨年、今年と2年の活動の結果得た結論は、やさしいまちづくりのための短期、中期、長期を見据えたまちづくりを考える組織の存在の必要性でした。この地区に例えば「(仮称) 奥沢のグランドデザインを考える会」(組織、協議体)が立ち上がり、全体像を把握しながら、まちの活性化を住民と共に考え、より良い方向を目指して行くことが求められている時期にきていると思います。

この会のイメージは次の通りです。

- 1：常に奥沢の将来あるべき姿（グランドデザイン）を模索している
- 2：地区の活動団体、グループなどが住民と進める個別のプロジェクトの成果を、グランドデザインに照らして整合性がとれるよう配慮する
- 3：地区内の各種の団体、グループ、住民に影響力を行使できる
- 4：シンクタンクと事務局を保有する

この会の活動が軌道に乗れば、次の効果が期待できる。

- 1：新たな人材の掘り起こし（団塊世代の取り込み）
- 2：安心・安全のまちづくりに寄与
- 3：短、中、長期の目標設定をするので、達成感が実感できる
- 4：商圈、住宅地としての評価が高まる
- 5：住民が『未来の共有』をすることができる

私たちは今後、このような会の設立に地区内の諸団体と努力をするとともに、今年度からの継続案件である公園、バス、道路などの個別のプロジェクトは、それぞれ適切と思われる団体、グループ、住民あるいは行政と連携、協働していく所存です。

以上

人&まちネット おくさわ メンバー（50音順）

大橋 庄一郎	小川 三枝子	小澤 雅子	加藤 麻子
柄沢 正五郎	葛岡 信男	鈴木 信悟	鈴木 千代子
鶴原 清二	中山 眞由美	坂内 和典	星 和子
増田 光子	三須 リツ子	泉ニ 香苗	

「人にやさしいまちづくりのためのマスタープラン 奥沢版」
に基づく活動計画のための調査研究・作成
報告書

2008年3月

発行 「人&まちネット おくさわ」

代 表 葛岡 信男
〒158 - 0084 世田谷区東玉川 2 - 2 5 - 1 4
TEL 0 3 - 3 7 2 0 - 3 3 5 2

許可なく複製・引用・転載を禁ず